



実践校に関する事項			
〔单元指導計画概要〕			
	主な学習活動	学習への支援	評価方法等
1	高野山について調べよう。 自分の調べたいことを決定する。 (3時間)	高野山の歴史や文化、自然について新たな情報や気付きを見つける。 調べた情報や意見交流の中で自分の興味関心があるテーマを決定する。	知識及び技能 (ワークシート)
2	次世代育成事業に参加することで、和歌山県や自分の回りの環境について身近に考える機会を持つ。 (5時間)	次世代育成事業を体験するにあたり、高野山の自然環境や地理的、歴史的な情報について、基本的な情報はあらかじめ学習しておく。	関心意欲態度 (観察、ワークシート)
3	それぞれが考えたことについて、資料を集め、提案を考える。(3時間)	ICTを有効活用し、必要な資料を集め、取捨選択する。	知識及び技能 (ノート)
4	構成と使う資料を考えて、グループで発表する。(2時間)	構成については、教科書に提示されている見本をもとに考えていく。	知識及び技能 (ノート)
5	お互いの発表を聞き合い、感想を伝え合う。(1時間)	自分の思いや願いが伝わるように表現する。	思考力、判断力、表現力 (発言、ワークシート)
〔单元学習の成果と課題〕			
<p>国語科「町の未来をえがこう」を中心に、和歌山県や自分たちの身の回りの環境を身近に考えられるよう単元を構成した。自分たちの未来について考え、持続可能な社会にするための自分のできることを考える。その際、次世代育成事業に参加し、高野山を訪れたことで、教科書での話だけでなく、実感を伴った学習にすることができた。</p> <p>今回の現地体験を生かして、自分たちの町の未来を考えて、持続可能な社会を形成するためのアイデアを考えたが、今後はもっと深く自分たちの町と関連していければと思う。</p>			
〔世界遺産学習の効果〕			
<p>和歌山市で生活をしていると、和歌山県に世界遺産があること自体を意識していない。何か自分たちとは違う地域の自分たちとは関係のないものと思っている。そういった現状の中、実際に世界遺産である高野山で話を聞き、自分の足で歩くことだけでも、子どもたちにとっては貴重な体験であり、和歌山県の世界遺産や自然環境を知り、それを守っていくという意識の動機づけになった。</p> <p>教科書や本、新聞、ニュースで情報を得るだけではなく実際自分の目や体で感じることによって、今後の子どもたちの意識に変化を与えるものであったと考える。</p>			
〔世界遺産学習の今後の方向性及び改善点について〕			
<p>SDG s の観点からもこの和歌山の自然や世界遺産を守り、持続可能な社会を考えるきっかけとしても有意義な時間を過ごすことができたと思う。今後は次世代の子どもたちが持続可能な形で、地元和歌山の世界遺産、自然や地球の未来についても考えることが重要であると考え。これからもSDG s 等で学んだことを身近な問題から自分事として考えることができるようにしていきたい。</p>			

## 様式 2

### 令和3年度 「次世代育成事業」における学習記録

[概要報告書 学習記録・活動写真]

令和3年11月5日（金）に、高野山にて行った。

まず、初めに、高野町中央公民館で世界遺産講座を金井先生より1時間ほどお話していただき、世界遺産についての概略と「紀伊山地の霊場と参詣道」について学んだ。具体的に抹消された世界遺産を知ることによって今後も守り続けていかなければならない和歌山県の世界遺産について深く考えるきっかけとなった。

子どもたちの感想は、抹消される世界遺産があるのを初めて知った。今後も自然遺産や文化遺産を大切に守っていかなければならない等の意見があった。



昼食後の現地実習は、5グループに分かれて一の橋から弘法大師御廟までを歩き、世界遺産マスターのみなさんに案内していただいた。お墓や五輪塔を説明していただき、教科書で習った歴史人物の豊臣秀吉や織田信長のお墓をじっくり見たり、興味深く井戸を覗き込んだり、大きな五輪塔をどのように運んだのかを考えたり、子どもたちも楽しく見学することができていた。

子どもたちは、「以前来たことがあったが、説明を聞いて高野山のすごさ、素晴らしさが分かった。」や「高野山・奥の院には色々な歴史人物のお墓があり、五輪塔の意味や空海の食事について教えてもらえてよかった」という感想があった。約2時間という短い時間であったが、奥の院を見学でき、新たな高野山、和歌山県を知ることができた機会となった。



事後学習は、現地学習を行って学んだことや疑問を明らかにして、グループ学習を行った。世界遺産とSDGsと関連させて考えている班や、町石道や奥の院について考えている班もあり、みんなで共有するために授業参観で発表を行った。空海の歴史や町石道を詳しく調べたり、三鈷杵や五輪塔に興味を示す班があった。また、危機的な世界遺産からSDGsと関連させて考えている班もあった。

和歌山市からの参加であったため、移動時間が長くなり、壇上伽藍や金剛峯寺の見学はできなかったが、お天気にも恵まれ、子どもたちも新しい和歌山県の姿にふれることができた貴重な体験となった。



